

## 年末年始のご注意ペットの誤食！！

師走に入り、これからの年末年始は、クリスマス、お正月と、楽しいイベントが盛り沢山です。しかし同時に、変わったものを食べてしまう、「誤食」の最も心配な時期でもあります。

ついついにぎやかなイベントに便乗し、普段食べ慣れない物を口にして、胃腸炎を起こしたり、骨や串・ラップ・飾りなどを飲み込んで、閉塞や、胃や腸に刺さったり・・・。また、お鍋には不可欠なネギ類、ケーキには欠かせないチョコレート、この季節によく見られるポインセチア・シクラメン・クリスマスローズ、風邪薬などの人体薬も、摂取すると中毒を起こすなど、心配はつきません。症状によっては、胃洗浄や手術が必要なことや、生命の危機に係わることもあります。他の病気と違い、誤食は飼主様の注意で予防できるものです。床には置かず、高い所に飾る、手の届かない所にしまうなど、十分に気をつけ、素敵な年末年始を過ごしましょう。

## お休み前に、健診を。

年末年始は、お休みをとる病院が少なくありません。ペットが具合悪くなった！？でも病院がお休み・・・。こんな不安を解消するためにも、今のうちに、健診を受けておきましょう。

動物は口が利けないので、初期症状は見逃すことも多く、症状が出た頃には、かなり進行していることも。病気の早期発見・早期治療の為に12月中に健診を受けましょう。

### スタッフ紹介

昨年9月より入社しました、永野です。

私も以前、愛犬が大往生し、今は愛猫が、このクリニックでお世話になっています。悪戯好きなおてんば娘で、いつか何か仕出かしやしないか、ヒヤヒヤしています。スタッフ一員として、また一飼主としても、皆様のお役に立てるよう、精一杯頑張ります。



## 寒い冬にこそ気をつけたい病気・症状



～早期発見！早期治療！のために～

### 犬・猫の膀胱炎のお話

寒くなってくると、犬は、散歩に出かける回数も減りがちです。動かないので、喉もあまり渴かず、水を飲む量は夏に比べて激減します。犬も猫も、水を飲まない→おしっここの量が減るといったことから、泌尿器系の疾患になりやすい季節です。特にオス猫では、メスに比べて尿道が長く、泌尿器疾患が起こりやすいです。排尿するときに、いつもの様子と違うそぶりをみせたら異常があると思ってください。特にちょろちょろと少しずつ時間をかけて排尿している、出しては中断し、出しては中断し.....を繰り返すといった様子は要注意です。また、水を大量に飲むようになったり、飲んだ水の量に比べて尿の量が異常に多い場合、また、少量ずつ何度も排尿するようなどきも、泌尿器系疾患による膀胱炎などにかかっている可能性が高いです。

### 呼吸器疾患

空気が乾燥して気温が下がる冬は、鼻や喉の粘膜の働きが弱まり、細菌やウイルスの侵入に対する抵抗性が低くなります。その結果、喉や鼻が刺激に敏感になり、鼻炎や咳などの症状となってあらわれやすくなるのです。冬、大流行する人間のインフルエンザもそうですが、ウイルスは低気温・低湿度を好むので、冬に特に媒介しやすいという性質をもっています。体力が落ちた動物はウイルスに感染しやすくなってしまいますので注意が必要です。猫ちゃんだと子猫で、母親からの抗体がなくなってくる2、3ヶ月の子で猫風邪が起きやすいです。猫風邪にはクラミジア、カリシウイルス、ヘルペスウイルスなどが関わっていて、子猫のうちからの、きちんとした回数のワクチンの接種で予防できます。ワンちゃんでも、ケンネルコフという人と言う風邪の様な症状が出る事があります。主にアデノウイルスやパラインフルエンザウイルスによって引き起こされますが、こちらもしっかりとしたワクチン接種で、きちんとした予防を行いましょう。

年末年始は、処方食の間屋さんがお休みの為、多めのご注文をお願いします。(防災上でも多めに備蓄して下さい。)

お薬も年末年始になくなる前に残りの確認を忘れずに！

年始は、1月4日(水)より通常診療開始になります。

- ・ 2011年12月22日発行
- ・ 金町アニマルクリニック
- ・ 東京都葛飾区金町2-29-6 KACビル1階
- ・ 03-3609-7517